

## ▼ハイドレアカプセル [内]

【重要度】★★ 【一般製剤名】ヒドロキシカルバミド (ヒドロキシウレア) (U) Hydroxycarbamide/Hydroxyurea 【分類】抗悪性腫瘍剤

【単位】▼500mg/Cap

【常用量】500～2000mg/日

【用法】分1～3

【透析患者への投与方法】設定されていない (1)

【その他の報告】20%に減量 [HD日はHD後] (3,17)

【PD】20%に減量 (3,17)

【CRRT】50%に減量 (3,17)

【保存期CKD患者への投与方法】GFR>50mL/min:減量の必要なし, GFR10～50mL/min:50%に減量, GFR<10mL/min:20%に減量 (3,17)

【その他の報告】慎重投与 (1) 消失が遅延するので減量が必要 (U)

CCr 60未満では初期量を7.5mg/kg/日とする (Yan JH, et al: J Clin Pharmacol 2005 PMID: 15778424)

【特徴】尿素誘導体の代謝拮抗剤。S期の細胞に特異的に作用し、リボヌクレオチドレダクターゼを阻害してDNAの合成を阻害する。CMLに適用される。

【主な副作用・毒性】骨髄抑制, 肝障害, 皮膚障害, 間質性肺炎, 消化器症状, 脱毛, 痙攣など

【モニターすべき項目】腎機能, CBC, 血清尿酸

【吸収】良好に吸収される (U)

【F】73% [ラット] (1) 79.2% (Tracewell WG, et al: Cancer Chemother Pharmacol 35: 417-22, 1995)

【tmax】1～4hr (U) 1～1.5hr (1)

【代謝】肝代謝 (U) 代謝物として不活性のアセトヒドロキサム酸が同定 (1)

【排泄】尿中回収率: 50～75% [po, 24hrまで] (1) 尿中未変化体排泄率50% [12hrまで] (U) 尿中回収率80% [12hrまで] (U) 肝排泄は飽和する (U) 炭酸ガスとして呼気排泄もされる (U)

【CL】腎CL91mL/min (Tracewell WG, et al: Cancer Chemother Pharmacol 35: 417-22, 1995)

【t1/2】2～3hr (1)

【蛋白結合率】資料なし (1)

【Vd】体液量と等しい (U) BBBを通過する (U)

【MW】76.05

【透析性】透析されると思われる (5) 資料なし (1)

【O/W係数】0.0537 [1-オクタノール/水系, pH7.0] (1)

【薬物動態】ミカエリス-メンテン型の非線形動態をとる (Tracewell WG, et al: Cancer Chemother Pharmacol 35: 417-22, 1995)

【更新日】20200812

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。